



KITASKA

キタスカだより

第4号 平成25年10月発行
北部地域住民自治協議会
北部市民サービスセンター内事務局
Tel 018 (846) 1133

第3回「KITASKA(キタスカ)まつり」を終えて

北部地域住民自治協議会
会長 加賀谷 俊雄

第3回「キタスカまつり」が終わった。約4000人の老若男女が集い楽しんでいた。

この種の「まつり」はどうしても高齢者が中心となる。そこであえて今回は「親子のふれあい」をテーマの一つとした。

「動物ふれあいコーナー」や文化ホールを開放して親子で楽しんでもらおうと「まつりでにっこり広場」など、若い親子が楽しめる「まつり」に心がけた。これもひとえにこれからの地域を担う若い力に期待する願いからである。

平成25年度 北部地域住民自治協議会 総会

平成25年5月16日(木)午後4時からホテル大和において、平成25年度の総会が開催され、下記の議案について話し合われた。

- (1) 平成24年度事業報告について
- (2) 平成24年度収支決算書について
- (3) 平成24年度監査報告について
- (4) 平成25年度事業計画(案)について
- (5) 平成25年度収支予算書(案)について
- (6) 会則の一部改正(案)について
- (7) 役員・常任理事の改選について

音楽ユニットと語りのコンサート

日時：平成25年7月7日(日)

午後1時30分～3時

出演者：ピアノ 佐藤 滋さん
フルート 京野 弥生さん
ハーブ 新泉 綾美さん 他
語り 朗読グループ「ぬくもり」



《美しい音色を響かせる京野さんと新泉さん》

満員の会場の中で行われた『音楽ユニットと語りのコンサート』は、第一部のピアノ・フルート・ハーブの演奏で始まりました。

誰もが耳にしたことのある『カノン』、『亜麻色の髪の乙女』、『浜辺の歌』等、全6曲を演奏し、その優しく美しい音色に会場のみなさんはうっとりしていました。

また、ピアノ奏者の佐藤さんは、コンサートの開催日が七夕であったことから、『きらきら星』、『星に願いを』、『星のフラメンコ』など星にまつわる曲をメドレーで演奏し、多くのみなさんは音楽に合わせて歌を口ずさんでいました。

第二部の朗読グループ「ぬくもり」による語りでは、『七夕さま』と『春のわかれ』の二つの話しを朗読されました。優しく、穏やかな語り口に癒された時間であったようです。



《『春のわかれ』を語る谷さん》

第3回 KITASKA (キタスカ) まつり開催!

9月27日(金)から9月29日(日)の3日間にわたり開催された第3回「KITASKA (キタスカ) まつり」は、延べ4, 118名の方が来場されました。

* 北部地域特産物直売 *

北部地区で栽培された野菜や果物のほか、手作りの工芸品や手芸品が販売され、昨年引き続き午前中で売り切れるほどの大盛況となりました。



* 作品展示 *

書道や絵画、盆栽、裂き織り等の作品が並び、来館者の目を楽しませました。



9/27



林家うん平の『講演と落語』

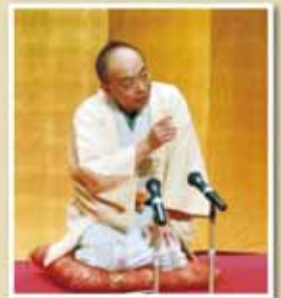
▶1995年 落語協会「真打昇進」

鈴木演劇場、末広亭、浅草演劇ホールなどで活躍中。

キタスカまつり1日目の9月27日(金)に行われた講演と落語では、平日にも関わらず、268名の方々が会場の席を埋めました。

『聞いて長生き! 笑って健康! 健康人生パンザイ』の演題で始まった講演では、ご自身の生き立ちや、師匠である林家こん平氏の話を中心に話されました。健康については、忙しい現代人に多い、ストレスや心の病などについて「うん平式朝の健康チェック術」や、「ストレス発散体操」などを紹介しながら、軽快におもしろおかしく語られました。

また、後半では古典落語を、愉快で表現豊かに語り、会場は大きな笑いの渦につつまれていました。



* フリーマーケット *

今回初めて屋外での開催となったフリーマーケットでは、3日間とも晴天に恵まれ、多くの方が足を運び買い物を楽しんでいました。



★ お茶会 (裏千家茶道) ★

9/27

椅子席でのお茶会では、おいしいお茶のお点前に参加者のみなさんは大満足の様子でした。



ヒーローショー

「ビートファイターACE」

9/28



旋破りのダンシングヒーロー「ビートファイターACEショー」では、小さな子どもたちがたくさん集まり、謎の怪人とのダイナミックな戦闘シーンでは、大きな声援が送られていました。

ショーの後半では、ACEメンバーが息の合ったキレのあるダンスを披露し会場を大いに沸かせました。



また、公演終了後は握手会と写真撮影会が開催され、会場にいた子どもたちは大喜びで憧れのACEと握手や写真撮影をしていました。

★ 動物ふれあいコーナー ★

9/28

今回初めてのイベントとなったこのコーナーでは、ウサギやモルモットと直接ふれあうことができ、かわいい動物たちにたくさんのみなさんが癒されたようです。



★ 芸能発表会 ★

9/29

北部地域で活動をしている32団体が出演した芸能発表会では、出演者の方々の素晴らしいダンスや合唱等に、会場は大きな拍手につつまれていました。

また、今年はプログラムの最後に、東日本大震災の震災復興を願って会場のみなさんと一緒に復興支援ソング『花は咲く』を歌いました。



★ 子ども縁日 ★

9/28

輪投げやヨーヨー釣りのほか、ポップコーンやわたあめ等を販売し、たくさん子どもたちが楽しんでいました。



《会場のみなさんと一緒に『花は咲く』の大合唱》

～北部8地区歴史探索～

シリーズ第3回 飯島地区



〈飯岡山公園〉

— 飯島の生い立ち —

飯島地区振興協議会
会長 石塚 實

飯島は雄物川が流れていた河跡に風波によって吹き寄せられた砂丘によって誕生している。飯島の河跡は、低地で大湿原となって長く飯田付近の水田造成時ガス層になっているのが発見されている。

飯島の広大な水田を開拓した先人が、延々と数百年の歳月を費やして、上新城の山裾に点在していた小山をひと畝ずつ切り取って運んで埋め立てた容土であり、16個の山を運んだと言われておりその歴史の証として残されたのが「豆腐山」である。現在は風化して原型が全く失われている。

また、大湿原を埋め立てているため、先人の知恵が生み出したのが「船堰」であり、上新城の山麓から飯島村までの東西約2kmの距離に幅2間の水路を掘り込み、現在の飯田街道、豆腐山、笹岡竜神社付近を基点に船便が通行出来るようにした。その荷揚げ場に植えられた松が「船堰の松」として、市の保存樹として保存されている。

飯島海岸砂防林は県林業誌によると、日本一と記述されている。この砂防林の成育には下新城中野の中川六右衛門氏が私財を投じ、10有余年の苦難を経て植林に成功している。

開拓した人々の努力と地名の由来等を大切に、現在も飯岡山の整備、新城川桜植樹事業等に取り組んでいる。



〈飯島神社〉



〈新城川の桜並木〉

平成24年度施設利用状況

(平成24年4月1日～平成25年3月31日)



利用者総数：118,516名

内 訳

地域文化ホール利用： 20,042名

部屋利用： 58,403名

体育館利用： 40,071名

※一日平均331名の皆様にご利用いただきました。

お知らせ



◆佐藤菊夫講演会◆

日 時：平成25年11月17日(日) 13時30分から
当日直接会場へ 先着 280名

会 場：キタスカ1階『地域文化ホール』

演 題：『我がふるさとへ捧げる想い』

講 師：佐藤 菊夫氏

(東京管弦楽団音楽監督・指揮者)

…お問い合わせ先

北部地域住民自治協議会

TEL 018(846)1133

